

ことばを育てる

言語・学習指導室
葛西ことばのテーブル
三好純太

人間は、コミュニケーションのために
どれくらいのことばを必要と
するのだろうか

たとえば、成人の日本語話者であれば

理解語は4~5万語、
使用語は1~2万語

といわれている

またこどもの言語発達においては

〇才だったら〇語くらいのことばがある

という指標がある

これらの知識・情報は

ことばを量の面でとらえたもの

この子は、「くるま」
ということばを知ってるな → +1語

では何をもって、
「知っている」とすればいいのだろうか

車を見て「くるま」といえる、
「くるま、どれ？」ときかれ車を指させる、
ことだろうか

ことばを数で判断することには、
どうもじっくりこない部分がある

それはなぜかというと

ことばは数でなく
「質」を評価すべきものだから

数が質を反映している、
ともいえるのだが

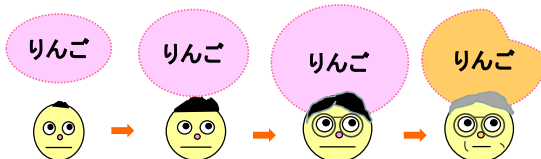
それがどんなことばなのか

どれだけの広さや深さを持っているか

ただ、もともと広く深いことば
というものが、あるわけではなく 育てていくもの

私たちは、こころの中に
生まれた小さなことばを
日々、育てている

ことばは
日々膨らみ
変化している
その意味も、使い方も



ことばは、手や足や目と同じように
人といっしょに生きている

ところで、ことばには2つの要素がある

一般的な意味

みんなが共通に
知っていること
(共有知)

個人的な意味

そのものについての
個人的な知識や
思い出・感情

ことばが育つとは、この2つの
要素がともに膨らんでいくこと

たとえば「りんご」だったら

一般的な意味

赤くて丸い

北の植物だ

最近外国からの輸入が多い

ええと、どんな品種があったっけ？



個人的な意味

すっぱいから嫌い

リンゴ狩りしたな

リンゴは挿し木栽培
セザンヌのリンゴの絵が好き

リンゴ狩りしたことあったっけなあ

では、最近進歩のめざましいAIだったらどうだろう？

たとえばAI(人工知能)に画像を見せれば、正しくその物の名前を言い当てることができる

スカシカシパンです。命名は青木熊吉ですよ。



これは？



ことばの一般的知識の面ではすでに人間を上回っているかもしれない

ただ「スカシカシパン」ということばを聞いて、それを初めて知った日のことや、磯で見かけるときのうれしさが湧いてくることはない。...たぶん。

AIは、人間のような「ことば」を育てることはできない。...いまのところ

人間は日々ことばを育てている..

ただことばの中には、育ちにくいものもある

たとえば 丸暗記したことば

試験や課題をこなすために、
とりあえず覚えたもの

こういったことばは、パスワードのようなもので
用件が終わればすぐに忘れてしまう

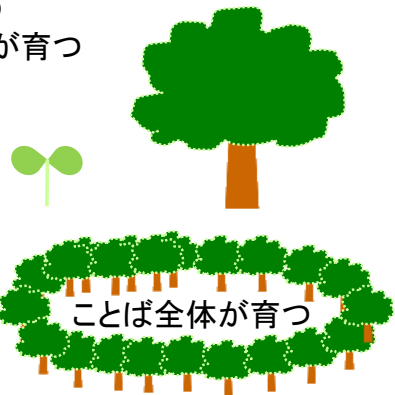
丸暗記ことばの特徴

- 単独 → 離れ小島のように他のことばとの繋がりが少ない
- ラベル → 1対1対応。ひとつだけの事物や意味とのみ対応
- 意識 → 意識して(ときにむりやり)学習する。
- 個人 → 他の人との関わり(やりとり)が乏しい状況

では、「育つことば」とは

- 単独
 - ラベル
 - 意識
 - 個人
- 内容: さまざまなことばとつながりあった広いことば
- プロセス: 人との関わりの中で自然に身についたことば

ひとつのことばが育つ

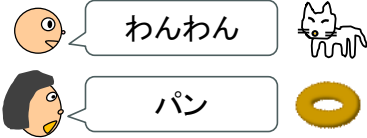


数は真を反映する

ことば全体が育つ

ことばが育っていくプロセス
～「りんご」を例として～

こどもは、にたものに
同じ名前をつかうことが多い

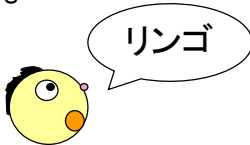


意味を広くとりすぎた
不正確な使用

たとえば、りんごとナシも、さいしょは..

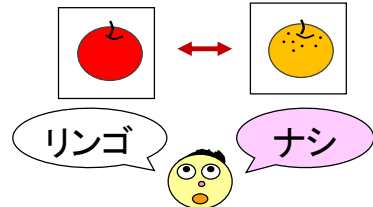


どっちも..



といったりする

でも、だんだんと違いがわかって..



「ナシ」を覚えた!

ではこれは、**ことばが足された**と
考えていいだろうか

いままで「りんご」と
いっていたもの



これは、ナシ

→ りんごではない

りんごの部分否定

「ナシ」は、りんごからの
引き算で生まれたことば

そして、この といえる

引き算のことばには
さまざまな意義がある

引き算のことばの意義①

すでに知っていたことばが豊かになる

りんごとは

ナシを知る前



ナシを知ったあと

- 丸い ● 赤い
- 甘い ● 果物



- 丸い ● 赤い ● 果物
- 甘酸っぱい
- ツルツルしてる
- 冬に食べる

「ナシ」を覚えたことによって…

すでに知っていた「リンゴ」の知識が精密化

より多面的で
くわしいリンゴが生まれた

↓

日本人の常識としての「リンゴ」
↓
一般的意味 に近づいた

引き算のことばの意義②

さまざまなものへの気づきが高まる

同じようにみえても、
いろいろ違いがあるんだなあ…

↓

ほかのものの違いに注目

細長いのが「コップ」で、広くて浅いのが「カップ」

大切なのは、ことばをひとつ覚えたことよりも
ことばとことばの関係性の獲得

リンゴ — ナシ

そして、この積み重ねによって
関係性の網の目

||

ことばのネットワーク が作られる

* ことばの学習は、ネットワーク形成を援助すること

引き算のことばを作るには

ものの違いに気づかせる

トンボとチョウ 包丁とナイフ etc

それは同時に…

ものの共通点に気づくことでもある

どっちも羽がある。でも… どっちも切るもの。でも…

違いの発見が 新しいことばを習得する
必然性と動機を生み出す

ことばの獲得を支えるもの

資源・環境

共感

援助

交互

想起

必要性 動機・意欲 推測 知識

資源・環境

資源

子どもが持ち合わせている

身体 ・ **能力**

発音・声量・アクセント・イントネーションetc.

文字の認識・書字・読書etc.

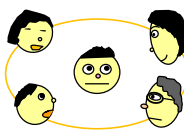
知的能力・言語能力・運動能力・聴力・視力・etc.

身体と能力の不足を補う外的装置

能力の拡大	能力の代替
望遠鏡・顕微鏡 拡声装置 自動車・飛行機 手紙・電話	メガネ 補聴器 義肢装具・車椅子 AAC (拡大代替コミュニケーション装置)
百科事典・辞書 計算機 人工知能(AI)	インターネット * すべての人間に 利便性をもつもの

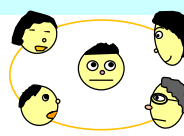
環境

子どもを取り巻くことばの環境



人は、ほかに話しをする人がいない環境では、ことばを獲得することはできないといわれている

ことばの発達にとっては
子どもを取り巻く環境が
ことばの糧となる刺激に
富んでいること
望ましい



と、いっても
とくべつなものではなく


ごくふつうの
家庭でのコミュニケーションで十分

ただ最近
母語を日本語としない、
もしくは他国語環境で生活する
子どもが増加している

外国とつながる子ども

外国語干渉、不完全なバイリンガルなど
言語環境が大きな問題となる


子どもの発達



環境的問題

×

能力的問題



器質的問題

×

能力的問題

例: 軽度の発音器官の異常
軽度の聴覚障害

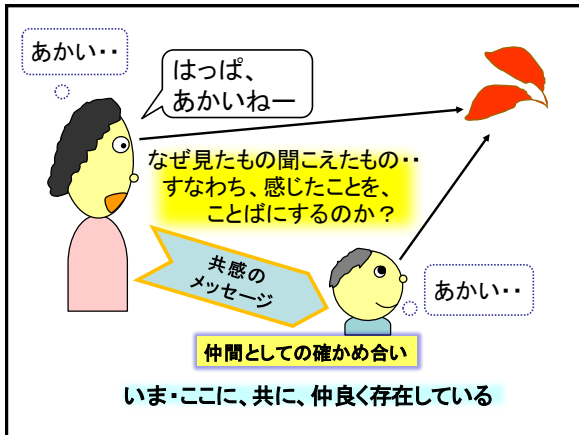
能力に問題を持つ子どもほど
環境的問題や器質的問題が
大きく影響する

共感

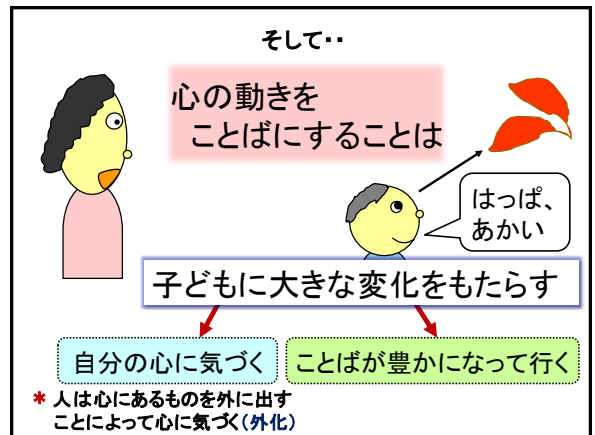
人間の会話内容の大半は
どうでもいいこと

私たちのコミュニケーションは
自分と相手が共感し合うために
行われている

* 共感とは、共に何かを感じる事



やりとりが共感に支えられていないと..
ことばの未熟な子どもは、
ことばは、正しく使わなければならないもの
また、それを試されるもの
その結果 と、捉えてしまうようになる
ことばに対する不安が強まり、言えそうな
ことしか言わないようになってしまう
↓
ことばが育つ機会を奪ってしまう



共感は **ことばを豊かにしていく**

たとえば

「赤い」や「きれい」や「吠える」や「なでる」は、
どんなとき言うだろう？

感じたことをことばにするとき

私たちは、
共感のコミュニケーションの中で
ことばを増やし豊かにして行く

もしかしたら、子どもの発達だけでなく
生物としてのヒトも、

この共感のことばの発見で、
人間になっていったように思う

どうでもいいことに価値を見だし
それを楽しむ

生存競争という本能を離れ、
喜んだり悩んだりする「わたし」
が、生まれたのではないだろうか

子どもと共感しあうために大切なこと

さまざまなものに対する
気づきと関心を持つ

おたがいをよく知り
相手に対して関心を持つ



こんどは、どこ行ったの？



先生から
のお話

援助

三項関係・会話援助・カテゴリー化

日常に隠されている
ことばの獲得システム

意識して学ぶことなく
こどもは、自分の国の言語(母語)を
獲得していく

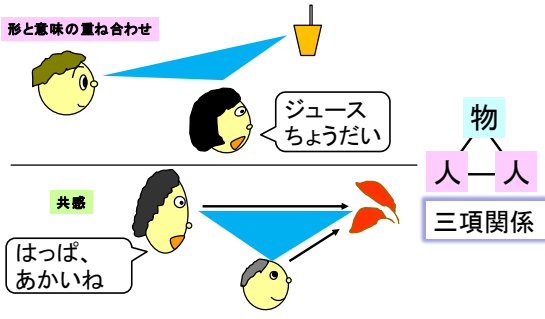
意識して教えることなく
大人は、こどもにことばを
学ばせている

三項関係

～△を作ろう～

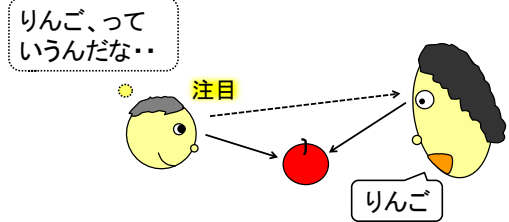
毎日のコミュニケーションの中で
ことばは、どうやって覚えるのか

形と意味の重ね合わせ

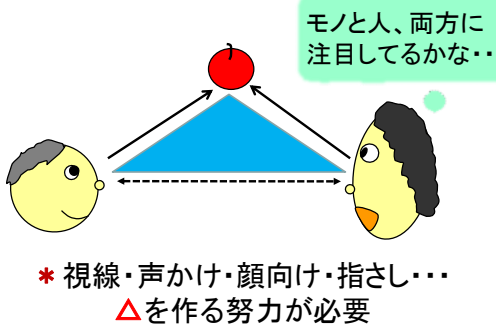


ことばの獲得

三項関係

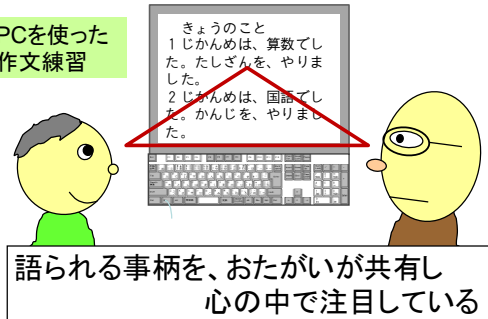


いつも△を意識しよう



おしゃべりも作文も△

PCを使った
作文練習



会話援助

～会話スキルを持とう～

子どもは

自分の力だけで、
ことばを習得して行くのだろうか

ことばの習得の考え方の流れ

初めの頃は

教えることによって、
子どもは言葉を覚える



その次に

子どもは、自力で
言葉を覚える

最近の ふたつの考えの折衷型

大人は、子どものことばの習得を



無意識に援助している



こどもは無意識に援助されている

会話における大人の援助

- ことばを拡げる援助
- 抑揚やリズムによる援助
- ことばの推測を促す援助

● ことばを拡げる援助

会話の中で、こどもが言ったことばを
相手の大人が、ふくらませて返す

★ つけ加え

★ 言い直し

★ つけ加え

① 文を拡げる

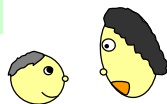
子:「ケーキ」

母:「ケーキ タベタイネー」

② 文法を加える

子:「ヒコウキ トンデル」

母:「ヒコウキガ トンデルネー」



★ 言い直し

子:「ハサミヲ キッタ」

母:「ハサミデ キッタンダ」

子:「エンソク、イク」

母:「エンソク、イッタネ」

子:「ハコ」

母:「フクロネ」

子:「フクロ」

母:「カミブクロネ」

つけ加えや言い直しのポイント

ことばの間違いや不足を訂正せず
さりげなく教える



ことばを話すことに不安を抱かせない

ことばは、使わなければ育たない

* でも、ことばや知識に関心のある
子どもには、訂正の学習は有効

●抑揚やリズムによる援助

★めりはりのある抑揚・間・テンポ

★助詞の強調

★めりはりのある抑揚・間・テンポ



おおきな いぬが いたよ



豊かな抑揚や、大事な部分の強調、
ことばとことばの間(ま)が大切



マザリーズ  

- ・文の仕組みへの気づきを促す
- ・話し手の伝えたいことに気づく

★助詞の強調

! 助詞は認識しにくい

単語と単語の間に埋もれて、
聞きとりにくく、注目しづらい

← 終助詞は助詞の中で **～ね**
いちばん早く覚える **～よ**

助詞に対する注目を促したい

文中の助詞の部分を実際立たせる

助詞を強くはっきりと言う



自転車で
スーパーに
いったの



もっと強調するには・・・

助詞に、指サインなどの視覚キューをつける



くるまに のろう



こうえんで あそぶ



ケーキを たべた



ねこが いるよ

●ことばの推測を促す援助

★身振り・オノマトペを豊富に使う

擬音語・擬態語




動詞や形容詞は、
名詞に比べて、意味が捉えづらい

でも、そこに身ぶりやオノマトペがあれば・

たおれる?
イスがたおれたの
しってる!
たおれる身振り
オノマトペ
バタン、ってなることを、「たおれる」っていうのか..
バタン、ってなることを、「たおれる」っていうのか..
身振りとおノマトペが、ことばの理解を進める

ことばは、意識的に学ばせ、
また学ぶものではない

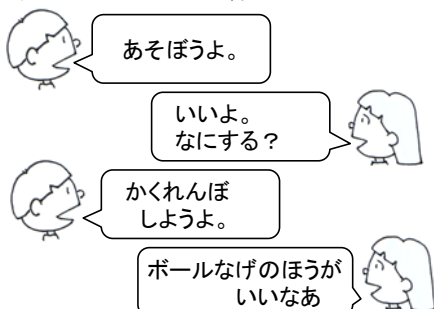
気づかぬうちに教え、
教えられる関係が大切

子どもと対話する大人は、
ことばを育てていく会話スキルが
自動車の運転技術のように
自動化されている必要がある 

ところで・・・

コミュニケーションや
会話の特徴とは、
なんだろう？

たとえば、子どもの同士の会話なら・・・



会話は基本的に、かわりばんこ

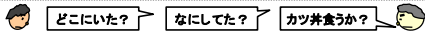
交互

かわりばんこ

会話は基本的に
かわりばんこに交わされるもの

そして本来、会話する人同士は
対等な立場のはずだが
ことばが未熟な子どもは、会話において
弱い立場に置かれることが多い

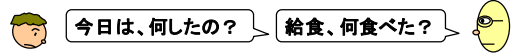
人に何かを問われ、それに
応えなければいけない場面



とくにそのような会話になりやすいのが..

大人との会話

子どもに対する質問が多い



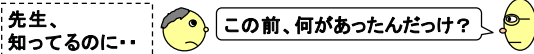
大人が会話を支配してしまう

会話が苦手な子どもには、ストレス

* かわりばんこにならず、会話嫌いになってしまう

このような状況を改善するためには..

1 聞く必要のない質問は極力しない



* 会話をテストと捉えてしまう

2 子どもから会話が始まるように工夫する

子どもからの「質問」や「依頼」、「感想」
などを引き出せるもの

(応答の予想・期待)

- だいじょうぶ? 感情
- どうしたの? 質問
- たべすぎだよ 判断
- おひるねすれば 提案

先生、いまとっても
ねむいんだ..

(応答の予想・期待)

こどもが、
会話の内容に
関心を持ち、
自発的に話す

- 見せて 依頼
- いくら? 質問
- いいなあ 感情
- 交番もってって! 命令

さっきお金
ひろったよ

かわりばんこの大切さ

かわりばんこは、心のあざない

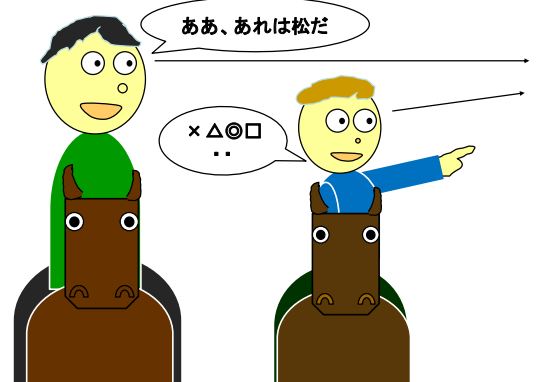
● コミュニケーションの喜びの形成

* こころの充足感としての意義

● 自分と他者との同一性の認識

* 私も、あなたも、同じ心を持った、
対等なコミュニケーター

北杜夫著「どくとるマンボウ航海記」より



それに乗って道に出てゆくと、あとからその馬丁が一人や馬に乗ってついてくる。どうも怪しげな東洋人であるからこのまま逃げたままではとってついてきたのかも知れないし、或いは道案内をするつもりなのかも知れないし、或いは馬を運動させるため、たまたま私と一緒にしたのかも知れない。私は、一人で好き勝手に歩きたいので、こんな若者についてこれては迷惑である。万が一と思って英語ドイツ語の単語をあれこれ並べてみたが、馬に話しかけたほうがまだ反応がありそうだ。彼が、しゃべりだすと今度は私が途方にくれる。そのうち郊外に出るらしい土の道になったので、私は腕をあげて、君はこっちへ行け、ぼくはこっちに行くからと身ぶりをしてみたが、判ったのか判らないのか相変わらずついてくる。面倒になったので私は馬を駆けさせ、そのうち坂ばかりの悪路になったが強引に走らせてゆくと、後ろから若者が大声をあげて追いついてくる。仕方なしに馬をとめると、彼は追いついてきて、こんな道をそんなにとぼすとひっくりかえると手真似をしてみせる。私はもう諦めて彼と馬を並べて一緒にゆくことにした。

すると若者は何やらひっきりなしにしゃべりだした。こちらが一語も理解しないことはとうに判っている筈なのに、いっかな話をやめようとしな。自分の写真をポケットから出してみせる。風景を指さしてしきりに説明する。私ははじめはしぶしぶうなずいているだけだったが、ついに対抗しやむを得ず日本語をしゃべりだした。彼が松林を指させば、「ああ、あれは松だ。日本にも沢山ある。こんな所にこんなに松があるとは思わなかった。」彼が羊を指さして何か言えば、「あれは羊だよ。エジプトではあれを食わされたがうまくなかった」という具合である。**それから二人の余話は急速にスムーズになった。**お互いにちつとも判らないのだが、黙ってチンプンカンのことを聞いてるよりは百倍もマンである。良い道に出ると若者はもう走ってもうよいと手ぶりでしらせ、彼のおかげで私はエストリールを見下ろす実に気持ちいい丘の上のコースを大きく一周することができた。

学習課題として **会話練習(ロールプレイ)**

会話練習 ちがくしたマンプ

テーマ やつぱりー

あき	ねえ、おにいちゃん、ここにあった、マンが動かない?
ひろし	えっ? ...動かないよ。
あき	ぼんやり おかしいなあ、さっき、おにいちゃんの言葉...
ひろし	...おれさんが、かたづけたいんじゃない?
あき	うーん...あれ? おにいちゃん、少しは動いてるの?
ひろし	えっ? な、動かないよ!
あき	うそ...あ、夢は醒め、かいてたんだ。
ひろし	えへへへ...夢は醒め、ぼれもかいた? ごめんね。
あき	しようがないなあ、あそこで、もんなら動いて。

●この練習は、
- AとBの役を演習するにすぎません。
- 10分以内で練習を終え、10分以内で練習を終え、
- ...

かわりばんこの練習

順番を守って、かわりばんこに自分の役を演じる

かわりばんこが できない子ども

- 話し出すきっかけがつかめなかったり、問いかけ(働きかけ)に対して応じることができない子ども
- 相手に話す機会を与えず一方的に話し続けたり、思い浮んだことを唐突に口に出して、会話の順番を守れない子ども

順番が守れない理由

↓

衝動性が高い

行動が常に前がかかりで、
自分の番を待てない
だから、待てない子どもは...

かわりばんこ=やりとりが難しい

かわりばんこは、相手を待たなければならない

↓

では、この場合の「待つ」とは何か?
「待つ」とは、ただ受け身にぼんやりしていることではない

「待つ」とは、相手をよく見て、よく聞くこと


★「待つ」ことの大切さと難しさ

「よく見る」「よく聞く」とは...

見る ≠ いっしょうけんめい見る
聞く ≠ いっしょうけんめい聞く

- * see ではなく watch
- * hear ではなく listen

◆ 相手に強い注意を向ける = **フォーカス(焦点化)**



つまり「待つ」は、

何かを「する」よりも、
意識的で高度な行為



意識的で能動的な待つ行動が

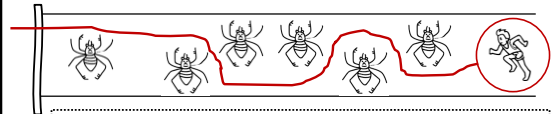
コミュニケーションを成り立たせ
それと同時に

よく見て考え判断する力と、その判断に
◎→ 基づき行動する「自我」を育てる

学習課題として

よけてゴールしよう

線の練習
ワークから



ゴールまで障害物に触れないように線を引く

本来は、描線練習の課題だが、
「待つ」=衝動性抑制の課題としても行っている

- * コースの見通しを立てる
- * ゴールまで安定した心理的ペースを保つ
- * 難しい所では筆を止め、問題解決を図る

さあ、それでは、

会話で子どもと
どんなことを話そうか・・・

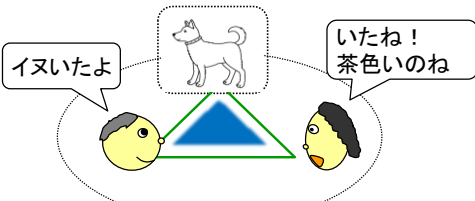


想起

共同想起・語り・イメージ

いっしょに思い出を話す

共同想起



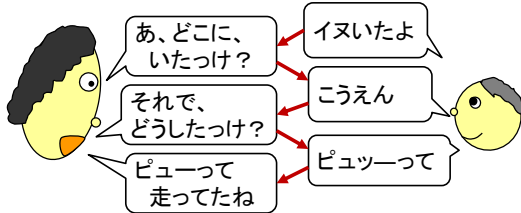
大人と子どもが、経験を、協力して思い出す

子どもは2才頃から
経験を語りだす

経験を
「不正確」「不十分」
に語りだす

大人の
援助

共同想起における大人の援助



質問・ことばのふくらませ・話しの展開の促し etc

大人との適切な対話が、
子どもの語りを支え、豊かにして行く

聞き手の大切さ

熱心に語るためには、
熱心な聞き手が必要

あいづち・表情・うなづき・

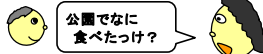
* 会話のリズム・テンポの相性も大切

子どもとのおしゃべりの
良き相方になろう!

経験の想起の進展

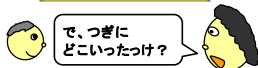
ひとつの場面や事物の想起

Q&A的
想起



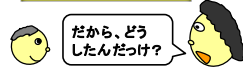
連続した場面の想起

時系列想起



* 接続詞や時間表現の使用

関係的想起



* 因果関係の理解
* 理由を表わす表現

ただ、

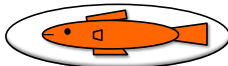
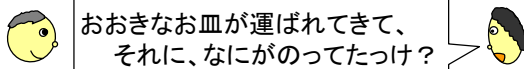
子どもが経験内容を
思い出せないということも多い

そういったときは

回想を援助する
なんらかの工夫が必要

回想を促す工夫①

周辺的な情報からの想起



空間や時間の周辺情報から目的の記憶を導く

記憶のネットワークの活用 ストーリー化への架橋

回想を促す工夫②

思い出の手がかりを用意する

画像・映像、物品



回想を促す工夫③

印象深い思い出を作る

そこで..

観光に行こう！

観光は学習の宝箱

観光に行ったら、
動画や写真を撮ろう

そして

お土産を買おう

お土産はタイムマシン

あのとときみんな
館山野鳥の森行ったなあ..



人にあげるということも大切♡

そして..

会話の中での共同想起は

子どもの成長とともに少しずつ

いっしょに経験していないことを
相手に話す「語り」へと発達して行く

※「語り」とは、自分だけのことばの力で、
その経験を知らない人にも、
わかりやすく伝えること

語り: 学校でのスピーチ

きょうは、みなさんに、夏休みに行った
旅行のことをお話します。私は、8月の
はじめに、家族と、三重県に行きました。最
初に、伊勢神宮という神社を見学しました。
伊勢神宮に行ったのは始めてだったので
すが、とても大きくて驚きました。



不特定多数を対象に
客観的に、出来事を語
らなければならない。



思い出を話すことは、なぜ大切か



イメージ能力を育てる

イメージとは...

自分が、物や事柄に対して思い描くもの。
他の人のものとは置きかえのきかないもの。

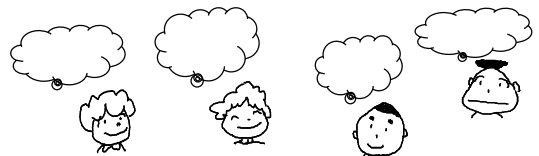


たとえば

あるところに、一匹の茶色い犬がいた

という文を読んだとき

自分はどんな犬を思い浮かべるだろうか？



思い浮かべる犬(イメージ)は人それぞれ
一般的な意味(共有認識)から大きく逸脱
していなければ、どんな犬でもかまわない

大切なのは、ひとりひとりが
自分なりの犬を思い描けること



こんな犬が、それからどうしたのかな



自分なりの犬のイメージがなければ、
まとまりのある話を理解し、
また楽しむことはできない

* イメージはコミュニケーションに不可欠なもの

では、イメージはどこから生まれるか

経験とことばの重ね合わせから
そして、その積み重ねから

なにかを経験した

まずはそれを 大人のことばを聞き

そののち 自分のことばで語る

そのプロセスの中で、イメージは徐々に培われていく

経験の想起がイメージに繋がるのは

[いま・ここ]ではないから

目の前にいない、過去の犬を
思い出し、ことばにすることによ
って、自分なりの「犬」の
イメージが育っていく



「又いたよ」

イメージ

思い出のおしゃべりの繰り返しが
イメージ能力を高めて行く

わたしのネコ、わたしの自動車、わたしの旅行、わたしの幸せetc.



イメージはこころの中のもの
だから..

イメージ能力の発達は
こころの発達につながって行く

心の理解

語りの理解

読書

すべて目に見えない、こころの中のもの

たとえば..

読み聞かせや小説を楽しんだり
読解問題を解いたりするには

まず少なくとも、自分の経験を
語れるようであればならない

子どもにいろんなことを話してもらって
語りの力を育てて行こう

学習課題として

おはなし作文

「プールのこと」
5月5日に、家族
で、プールに行き
ました。電車で行
きました。まず...



子どもに、思い出を語らせて、
大人がそれをPCに入力しながら
文章にして行く。

学習課題としての語り・作文の意義

語りや作文課題には、ことばや認知のすべての学習要素が詰まっている

語彙・文法・読字・書字・文章構成
発音・プロソディ etc.

記憶・注意・推測・心理洞察
空間認識・イメージ etc.

学習の機会や時間は限られている

* 多義的・多目的な課題の重要性

でも・・・子どもに話せ、話せというばかりでは、大切な「かわりばんこ」になっていないと、いうことで

最近では、こちらからも、「語り」をしている

先生からのお話



このまえの日曜日、先生はお祭りに行きました。



「先生からのお話」の流れ

自分自身の体験を短いお話にして語る

※この課題を始めたころは、話だけだったが、最近では写真や、ときに、動画を見せながら、話を進めている

話を聞き終わったあと、話の内容について、子どもに、何か質問をしてもらう

「先生からのお話」の目的

① 語りの学習

* 語りのモデルに触れ、自分の語りの参考とする

② 質問の練習

* 話の内容の中で、質問できる部分を見つけて、先生に質問をする

先生のお話例 焼きいもを買ったこと

①



②



③



④



⑤



⑥



先生のお話 焼きいもを買ったこと

この前の日曜日、焼きいもを買いました。家にいたら、焼きいも屋さんの放送が聞えたので、走って買いに行きました。焼きいも屋さんの車が公園の近くに止っていました。「焼きいもくださいーい！」と声をかけると、帽子をかぶったおじさんが「いいよ。どれにする？」と聞きました。おいもの三つの種類の中からシルクスイートというのをえらんで買いました。300円でした。家にもって帰って食べました。あまくてホクホクで、とってもおいしかったです。

という感じで、日々、写真や動画などを見せながら「先生のお話」を行っているのだが

最近は、

子どもが、おはなし作文などの際に、写真や動画を持参して体験を語ってくれることが多くなってきた



子どもが自発的に持って来る
写真や動画等は
本当に人に見せたいと思うもの

だから面白い！ おー！

ことばは拙くても、写真や動画なら
伝えたいこと、そして、伝えたい気持ち
 が、相手に伝わる

人に何かを伝えたいと思うこと

ことばの発達を促す原動力

たとえば、ある子どもは、ことばのテーブルで自分の経験を話すことが習慣になってから

その子が、生活の中で、何かをしながら、「あ、このこと、こんど先生にお話にしよう」

と言うようになった、と家族の方から伺った

伝えること=ことばを想定しながら、何かをすることは、単語や文法習得を援助する

だから 子どもからも、大人からも
たくさん経験を語ろう

たとえば、毎日、大人と子どもがお話をひとつずつ持ち寄って
お話のかわりばんこ 話をする

今日ね、学校でね・・・

お母さんは今日ね・・・



そして、お話を聞いたら・・・

質問をし合おう

関心を持ったところ、
よくわからなかったところ・・・

何を買ったの？

だれと遊んだの？

とくに

子どもから質問を引き出すことが大切

質問が育てるもの

- 自分自身の話を育てる
相手の話の中で未知の情報を見つける
↳ 自分の語りの情報不足の気づきに繋がる
- 疑問文を作る能力を育てる
会話の半分以上は疑問文
↳ 会話に積極的に参加できる
- 他者への関心を育てる

しつもんをしよう②

に、きました。

身長は、何センチですか？

177センチです

スマホは、持っていますか？

きのうの、ばんごんは荷でしたか？

ハワイに行ったことがありますか？

書かれている
質問を読み上げて
回答を記入する

身長は
なんセンチ
ですか？

177セン
チです

※双方向で行う

それからもうひとつ。勉強も・・・

できるだけ、かわりばんこがいい

どうしてかと言うと

子どもは勉強の中で
ことばの受け手になりがち

ここに書いて
読んで下さい

正解！

だから

教える人と子どもとで、役割を交代
するのが良い = 子どもに先生役をやらせる

★相手に働きかけることばを育てる

必要性

動機・意欲

必要性 動機・意欲

ことばの発達をもっとも促すものは
必要性と動機・意欲

何かを知る必要がある

何かを絶対伝えたい

どうしてもこの本の内容を知らなければ。
どうしても、このことをあの人に話したい。

その推進力によってことばは伸びていく

必要性の
学習課題として

つたえる練習

靴下と、生乳の
あいだにカサがある

こう？

先生は知らないんだから
ちゃんと伝えなきゃ

必要性
動機

より高度な伝達練習 絵を伝えよう

* 原面に書き込んだものの状況を伝える
位置・大きさ・数量・色etc.

原面

原面に書き込み

原面

	ㄗ	ㄷ	ㄹ	ㄴ

1	2	3	4

1は、えーと…て、あらってる

ギャップの設定

* ギャップ(gap)とは「差」のこと

自動的な流れを遮って、
子どもを立ち止まらせ
ギャップを乗り越える場を作る

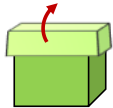
人間の生活自体が、ギャップの連続

さまざまな問題解決に取り組む中で、
わたしたちは心の力を拓けていく

たとえば、容器の扱いを学ばせたい場合

そこから何かを取り出す場を設定する

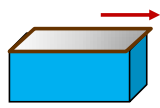
なんとか を取り出したい！



開ける



ねじる



スライドする

さまざまな状況の打開に努力する

↓
生きた能力の獲得につながる

推測

推測

自然習得において、ことばは
推測によって学ばれていく

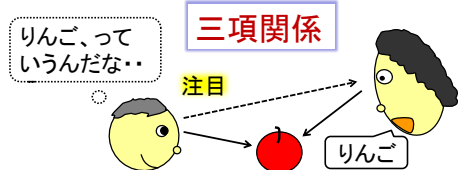
あのことばは、きっとこれのことだろう

あのことばは、こういう働きなのだろう

さまざまなことを暗示的に知るにより

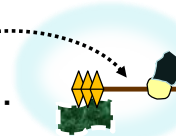
ことばは関連性の中で、効率的かつ
生きたことばとして習得されて行く

推測は、ことばの発達の基盤



コンロギで切る

コンロギは、
道具だろう…



文法の
支援

学習の本質とは、
推測する力を育てていくこと

||

自然習得の力を高めていくこと

物事の因果関係を洞察する能力と

因果関係を見ていこうとする志向

↓
問題解決の生き物である人間の本質

☞第5回こぼのテーブル学習会「心理洞察について考える」

知識

知識

推測を支えるためには
対象となる事柄に対する知識が不可欠

||
事柄についての知識が
ことばの不足を補ってくれる

たとえば あるゲームについてよく知っている

そのゲームについての解説本を読む際
未知の単語や文の意味が類推しやすい

学習においても

題材・テーマ選択が重要

子どもがそれについて豊富な知識が
ある題材・テーマを選ぶ

↓
同じ構造や同じ難しさの問題であっても
知識が乏しく、また馴染みのない状況設定では
状況依存性 能力が発揮しにくい

その子どもの経験値の高い題材が効果的

意欲・知識の
学習課題として

クイズ

クイズに答えよう⑤
◎クイズの正解を①～④の番号で答えてください

第1問 スズメのなきごえは、どれですか？
①カーカー ②ホッホー ③クックー ④チュンチュン

第2問 1番は金メダル、では2番は銅メダル？
①銀メダル ②銅メダル ③鉄メダル ④紙メダル

第3問 ねるときに誰をのせるものは？
① 岩 ② ネコ ③ おかあさん ④ まくら

第4問 竜船が「せ」から始まるのりものは？
① せんせい ② オートバイ ③ せんいかん ④ せんろ

第5問 つぎのなかで、かたかないものは？
① 岩 ② とうふ ③ 自動車 ④ カギ

クイズへの興味・関心

クイズ形式に慣れて
いる子どもが多い

○ × クイズという
状況依存性

傾聴・集中の練習
として効果的？

なぜクイズという
形式をとるか

子どもの多くは

クイズへの興味・関心
が高い 動機・意欲

クイズ形式に慣れて
いる 知識・経験

クイズ形式の例

第1問 スズメのなきごえは、どれですか？
①カーカー ②ホッホー ③クックー ④チュンチュン

第2問 1番は金メダル、では2番は銅メダル？
①銀メダル ②銅メダル ③鉄メダル ④紙メダル

第3問 ねるときに誰をのせるものは？
① 岩 ② ネコ ③ おかあさん ④ まくら

第4問 竜船が「せ」から始まるのりものは？
① せんせい ② オートバイ ③ せんいかん ④ せんろ

第5問 つぎのなかで、かたかないものは？
① 岩 ② とうふ ③ 自動車 ④ カギ

クイズという
状況依存性

↓
能力を発揮できる

生活のなかでことばは育つ

～おまけ編～

かたづけ

かたづけ

片づけから
ことばと認識が生まれる

タオルおきば



食器だな



衣装ケース



生活はカテゴリー(種類・分類)に
あふれている

家のなかのさまざまな分類にふれて



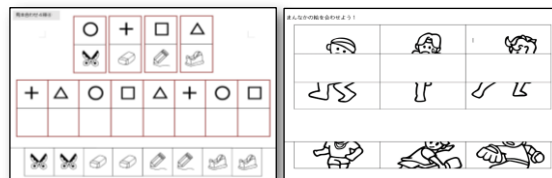
こどもはカテゴリーを発見する

ことばは、知らず知らずのうちに
いつしか身につけているもの

暗示的学習

学習課題として

プリント教材も、暗示的学習効果を期待して
選択肢などを選んでいる



同じカテゴリーの事物を目にし
それぞれの共通性を感じる

学習は二次的・
多義的である
ほうがよい

おわりに

今回のお話は、以下のことばのテーブル学
習会の内容と関わりが深いものです

- 第6回 「生活のなかのことばの学習」
- 第8回 「語りについて考える」
- 第16回 「質問について考える」
- 第21回 「プレゼンテーションと作文について」

各資料は、ことばのテーブルのホームページ
に掲載しています